

「歴史的分野・日本史の作問力養成講座」(教科教育チーム社会科)

1 はじめに

7月5日～6日の2日間、中学校および高等学校の社会科、地歴・公民科の先生方を対象とした作問力養成講座を実施しました。今年度は、県内各地の中学校から8名、高等学校から7名の先生方が集まり、観点別評価を取り入れた評価問題作成に挑戦しました。また、中学校と高等学校の先生方の交流を通じて、日頃抱えている問題点の共有化ができたことは大きな意味があったと感じます。

2 講座内容

(1) 1日目(7月5日)

開講式およびオリエンテーション

協議「社会(地歴・公民)科教育における今日的課題」

- ・日頃の評価活動の問題点の明確化

演習「評価方法の研究」

- ・高校入試問題の分析
- ・観点別評価を取り入れた評価問題の作成

(2) 2日目(7月6日)

演習「評価方法の研究」

- ・評価問題の作成・完成

協議「評価活動をふまえた授業構想」

- ・作成した評価問題の発表及び協議

閉講式

3 研修者の感想

「思考力を問う問題を作成するためには、思考力をつける授業の構想をしなければならぬと痛感しました。また、限られた時数の中で、教えたいこと・教えなければならないことをどのように組んでいくか、新たな悩みが生まれました。(中学校)」

「特に、生徒にどのような学力を身に付けさせるかを念頭に置きながら作問することの大切さを学ぶことができました。また、高校の先生方の入試に対する思いも知ることでもでき、中高合同研修の意義を強く感じることができました。(中学校)」

「中学校の先生方と評価問題の作成という作業を通じて協議できたことが実りであった。今後、各地区においても、このような機会があれば、中高の連携が図られていくのではと期待している。(高等学校)」

「他の班の先生方の問題と出題の意図を聞いて、今後の授業の展開や教材研究などもっと深く考えないといけないと感じた。また、数多くの先生方と話をし、より良いものを作り上げていくことの大切さを知ることができた。(高等学校)」

4 最後に

来年度も、同時期に作問養成講座を開催する予定です。来年は、近現代史を中心とした作問講座を予定しています。近現代史を「多角的・多面的」に考察するためにも、中学校の歴史分野、高等学校の日本史、世界史からいろいろな切り口を見つけていきたいと考えています。多忙な時期ではありますが、多数の先生方の参加を期待しております。